

第4回台湾建国烈士 鄭南榕先生を偲ぶ会

戒厳令下の台湾において、公開の場で初めて台湾の独立建国を叫び、あるいは2・28事件の真相究明を求め、遂には一死をもって国民党の圧政に抗し、台湾に民主・自由の道を切り開いた国土・鄭南榕烈士。

自由時代社を主宰していた鄭烈士は1988年（昭和63年）末、許世楷氏（台湾独立建国聯盟主席、現駐日代表）の「台湾共和国憲法草案」を、自ら編集長をつとめる週刊誌「自由時代」に掲載したところ、検察は叛乱罪容疑で逮捕しようとした。だが、鄭烈士は頑として応じず、台北市内の自社に籠城して国民党の圧制に抗議し、完全な言論の自由を求め、「国民党が私を逮捕できるとすれば私の屍だけだ」と宣言。そして翌年4月7日午前9時過ぎ、警官隊が包囲する中、自らガソリンをかぶって火を放ち、覚悟の自決を遂げられたのだった。享年42。

4回目となる今年は、第1回に引き続き台湾駐日代表処代表の許世楷先生、並びに、長年、日本人として鄭烈士の偉業を顕彰されてきた日台交流教育会専務理事の草開省三先生を講師に開催いたします。

下記の次第で行いますので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。



鄭南榕烈士

記

日時 2008年4月6日(日) 午後2時～4時30分(開場:1時30分)

会場 文京区民センター 2F 2A

東京都文京区本郷4-15-14 TEL:03-3814-6731(文京シビックセンターの斜向い)

【交通】都営地下鉄:三田線・大江戸線「春日駅」徒歩1分

東京メトロ:丸ノ内線・南北線「後樂園駅」徒歩3分

JR総武中央線「水道橋駅」徒歩10分

講演 許世楷先生(台湾駐日代表処代表)

「鄭南榕氏が切り開いた台湾の民主化」

講演 草開省三先生(日台交流教育会専務理事、日本李登輝友の会理事)

「鄭南榕廟を台湾に」

参加費 1,000円

主催 鄭南榕顕彰会[宗像隆幸会長 日台交流教育会、日本李登輝友の会、台湾研究フォーラム]

お申込 4月3日(木)まで、FAXかメールにて、日本李登輝友の会まで

FAX:03-5211-8810 E-mail:ritouki-japan@jeans.ocn.ne.jp

第4回台湾建国烈士 鄭南榕先生を偲ぶ会 申込書

ご氏名: _____ TEL: _____